

寺 報

龍正寺

日なた 206 号

蓮華

日延



<令和 7 年 7 月>

宝 龍 会
護 持 会

今和七年七月孟蘭盆会

南無阿彌陀佛
追善供養

宝雲山龍正寺

任職一言

お盆の月になりました、お盆は地域によっては7月または8月にとお盆が：とありますが、どちらも盂蘭盆です。早いとか月遅れとかではありませぬ。

お盆月は先祖様方各家に戻って来られます。7月8月は家庭の中がざわつきが多くなる事があると思ひます。供養いたしましょう。

1、御先祖様の供養、私たちがここに命がある事は御先祖様のお陰様です。

1 祖父母、父母の供養、私たちは父、母を選んで生れて来たわけでもなく、また父母もこの子供を選んで産んだわけでもなく、無常の愛で育ててもらった恩返しに供養です。

1 兄弟姉妹として縁があり感謝の気持で供養

1 この世に出れなく永子として亡くなった子供の供養。

お盆はまた特別な行事です。塔婆を建て、家族揃って供養をいたしましょう

合掌

此経難持

「この経は持ち難し」…信じることには難しい

日蓮宗新聞のシャカリキ奮闘記を読んでいて

「信じることには、今の時代、難しいことかも知れません。

詐欺メールが送られてきますし、怪しい営業電話もあります。

何でも信じてしまえば、だまされてしまいます。

信じることがいかに難しいか、それは私たちが一番よく知っているのかもしれませんが。

お釈迦さまは法華経の中で、実は一番難しいのは法華経を信じて、信仰することだと言われています。

自分の身の回りで良くないことが起こった時、信仰の力で乗り越えようと思います。」

手を合わせれば、合わせる程、いろんな事ができます。

私の場合、夫婦仲がどんどん悪くなっていました。手を合わせているのに何でと…

言われたのは、今まであったウミ(月農)(見えない
因縁)を出しきる間にはいろんな事がおこると...

理解しているつもりでも、本当に信じていいのか
と迷いはありました。

その間は、何言われても耳に入りません。

自分が正しい、悪いのは相手とばかりの態度・
言動...しかたなかった。

今思えば"その時に気づけばいいのですが"
なかなか気づけなかったのです。

結果: 浮気され 離婚... その時も私は悪くない
のばかりでした。

しかし、他の目で見ると、1人になることで自由が
手に入り、借金からの解放でした。

自身がもう少し大人であつたなら相手への接
し方、伝え方も変わっていたかも...

手を合わせている中で信じる事の難しさでもあ
りました。今となっては、その出来事のおかげ
で、人の痛み・苦しみがわかり 此経難持
を理解できるようになってきたのか...!?

「妙法のおかげさま」

ことしも早いつゆが明けました!!
似人前はしとしとと細い雨が降りつづき
じめじめと致し気分も晴れずの
いやな思いが残っています

似人前は暑い夏の日も窓を開ければ
いぢ良の風が入ってきましたとの窓と
この窓も開けはなしてした... 今の時代
の中では恐くて窓も開けられずの様
です。 6/6日に内科さんへでかけよう
と思いうちを出ました 角に麵作りの
会社があります! その会社の大型の
営業車が止まっておりましたので少し距離
を置き止まりました... 大型ですが
前は見えません。それならその大型車が

少しづつバックをして来ました どう
しようと思うわたしです

とさに自転車を降りるような機敏な
行動もできずです どうしようと思う中で
自転車が倒れる!! ビシャンと大きなぶち
やんのわたしも倒れて動けずじまつた...

運転をしてらした方が気づかれて近よっ
て下りて起してもらいました 骨も折れず
2カ所 ぐらいの打身ですみました...
妙法を唱えましてご守護のおれを申し
まして...ハアハアと荒い息で内科へ
走りました

そして又 昨年の夏頃より腫瘍マーカー
の数値が高いのです. どこかにガンが
あるこの数値が高いそうです

平値が③⑦ですが⑨⑧とか⑥⑧とか⑤⑦とか
に変わります。CT検査も致しましたか
異状なしです。6/3に採血検査致す
やはり⑨①でした 原因がわからずと
おっしゃるのです。おもしろいか、食べものおいしいですか…
身体はえらくなっていますか…と聞かれますが
すべて良きお返事ができました…
ガンの患者さんが手術をなさりの数値が
低くなればガンが良くなってゆくこの様です
このことも妙法のおかげさまの導きご守護を
頂いております。ゆうにゆえずのよろこびで
ございます。そして又平成26年にリエウマチ
ができました。おーと何ともなくで薬を飲んで
いましたが 今年今午2月頃より手の関節の
ふしぶしがシヤバリうまく曲がりません…

朝に妙法を唱えながらさりますと
だんだんとやわらいてゆきます…

リウマチ科のお医者さんへ 行きました
レントゲン・採血で調べて頂いたら
10年経って変形をしていないしこれなら
大丈夫です 塗りぐすりだけでいいですとの
ことで 終わりました 沁ると妙法のおかげ
さまの他ならずと有りかた々 思いでーい 妙
法でおれを申しおます。今は朝の沁はもう
ひとくちです!

妙法を一日に唱えたてまつる沁の有リ
かたさは 沁上なくのおかげさまでございま
す 年を重ねて参りました 今に奉えて頂け
ることをよむと致しまして そのまゝ 沁ま
すに妙法のおれを申し上げてゆきます。
日常生活と丁寧に大に いろんな沁の
思いを しみめながら 今の幸せはすべて
等々 妙法よりの有りかたさに 沁の合掌
でございます ありがとうございます

～ 23回忌を迎えて ～

先月父の23回忌を迎えました。

今までにも幾度となく、寺報に父の事を書かせてもらいました。

若気の至りで父と衝突する事もありました。今思えば なっかしい思い出です。しかし、その頃の私は父親の存在さえ重苦しい物だったように思います。年齢を重ねて来て、その父親の存在こそが最大の愛情だったと深く身にしみて思えます。

弟達と相談の上、龍正寺の本堂で23回忌の法事をして頂きました。

25年前佐口上人の帰山式の折、悠々閑々とのぼりを掲げ行道する父の写真を見てみると、この日蓮大聖人のお膝元で供養させて頂きたいと強く感じました。

当日、父のお供え物をあれこれと選んでいる時、父の「あーこれうまいよな!」「食べたかった!!」とあの声聞こえてきました。

最後には好きな物すら食べられませんでした。

気がつくと、お寺のお供物台も位牌堂の前もお供え物でいっぱいになりました。

法要後、ご住職から「お父さんはお偉せですね。こんなに子供達に愛されていますよ。」と言われました。弟達との話に「優しい父・子供の事が第一の人だったね。」父の話しは途切れる事はありません。

もうすぐ私も父の年齢に近づいてきました。父を思う時、私の心は父の背中でうたた寝していた幼き頃の娘のままです。父の体のぬくもり、笑顔に包まれて偉せな気持ちになります。弟達からも「おやじかきっと喜んでるよ。姉ちゃんありがとう。」と言葉をかけてもらえました。これから毎日、龍正寺の位牌堂の父のお位牌に手を合わせ、必ず父が来世偉せになれますようにと、御題目を唱え続けたいと思います。

7月13日(日)は盂蘭盆施餓鬼大法要があります。

皆様も亡き方、御先祖様への思いを寄せてご供養されてはいかがでしょうか。

—— 朽ちても朽ちぬ赤い花 ——

蒸し暑い日が続いていますが、皆様お変わりありませんか？

先日、ある寺院のイベントで、観音経のお話「朽ちても朽ちぬ赤い花」という語りを聞いてきました。

- 大切な人のために、人は時として悪人にもなる。
- 罪障とは過去の悪行が、今の幸せを妨げるということ。
- どんな人の心の中にも懺悔の心があり、罪の大きさが大きければ大きい程、いつまでも心の中に生き続ける。
- 観音経の「種種諸患趣又、地獄、鬼畜生、生老病死苦、以漸悉令滅」。諸々の苦しみ、地獄、餓鬼、畜生の苦しみ、生きる苦しみ、老いる苦しみ、病気の苦しみ、死の苦しみは、やがてことごとく滅び去るという部分が印象的でした。

このお話を聞いての感想は人それぞれだと思いますが、機会があれば是非、皆様にも触れて頂けたらと思います。

イベントでは、語りに加え、音楽や照明も工夫されていて、とても引き込まれ、心の浄化ができた、良い時間を過ごさせて頂きました。

感謝。

< 7月 行事予定 >

7月13日(日) 13:00~

宗祖日蓮大聖人報恩会

孟蘭盆施餓鬼大法要

7月18日(金) 10:00~

鬼子母尊神・七面大明神祈禱会

< 7月住職の予定 >

岐阜空襲法要 7月9日(水)

7月9日(水) 15時より 岐阜空襲法要参加予定

< 7月の予定 >

7月1日(火)

各々の時間で

清掃、準備

↓

↓

↓

11日(金)

12日(土)

9:00~

飾り付け

13日(日)

法要後

片付け、準備

14日(月)

各々の時間で

清掃、準備

↓

↓

↓

17日(木)